

令和8年度 第1回 光が丘中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月11日（月） 午後1時30分から午後3時20分まで
- 2 開催場所 浜松市立光が丘中学校 会議室
- 3 出席委員 溝口 玄、松井 章泰、森下 智子、實森 浜代、坂井 久司、鈴木 公寿、
正久 達、植田 渉
- 4 欠席委員 笹竹 和行
- 5 学 校 村松 還（校長）、瀬戸 一志（教頭）、石田 真（CS担当職員）
堀部 純子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 磯部 志保（学校・地域連携課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 堀部 純子
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について会長に意見を求めたところ、昨年度同様、松井委員にお願いしたいとの発言があり、委員全員異議なくこれを承認したため、今回より松井委員が継続して議長を務めることとなった。

10 熟議事項

- (1) 令和8年度学校運営の基本方針について
- (2) いじめ防止基本方針について
- (3) 令和8年度の目標及び夢育やらまいか事業に対する意見書について

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和8年度学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から令和8年度学校運営の基本方針について、資料（7～9頁）に基づき説明があり、委員からは以下の発言があった。

- 生徒の昼休みが10分短縮されている。個人的には45分まとめてとれるといいと思うのだが、先生たちの負担になっていないか。（鈴木委員）
一給食時間にはアレルギー等への対応がある。また、昼休みには、安全配慮義務があり、先生が教室に不在である事態を避けなければならない。そのため、本来45分ある先生の休憩時間を、昼休みとして25分、帰りの会終了後20分とることで対応している。生徒たちの交流時間はとれているが、生徒がいる限り、先生たちがまとまった休憩時間をとるのは難しい。（校長）

協議の結果、「令和8年度学校運営の基本方針」は、全員異議なく承認された。

(2) いじめ防止基本方針について

議長の指示により、校長から別紙「浜松市立光が丘中学校いじめ防止基本方針」に基づき説明があった。委員から特に意見は出なかったが、補足として、校長から以下の説明があった。

いじめのアンケートは、連休明けに Web 上で生徒が回答している。今年はアラートが 1 つだけであったが、すでに対応している。部活動が始まると、新しいケースが出てくる可能性があるので、都度対応していきたい。(校長)

協議の結果、「いじめ防止基本方針について」は、全員異議なく承認された。

(3) 令和 8 年度の目標及び夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から令和 8 年度の目標及び夢育やらまいか事業に対する意見書について、資料（10～11 頁）に基づき説明があり、委員からは以下の発言があった。

- 学校としてこの活動に使ってほしいという希望はないか。(溝口会長)
→通常の業務の中で、先生方のちょっとしたアイデアや要望があがることがあるが、それらを集約できていないところがある。地域からの提案とうまく合わせて活かしていきたい。(教頭)
- 余裕を持って予算の使い道を考えてほしい。(松井委員)

協議の結果、「夢育やらまいか事業に対する意見書について」は、全員異議なく承認された。

※熟議の他、その他の意見として、委員から次の発言があった。

- 家庭科の調理実習に参加している。生徒が良い雰囲気の中で活動しているので委員の皆さんにも見学してほしい。(實森委員)
- ダンスを見学してみたいと思っている。(森下委員)
- 家庭科の実習を見学したい。生徒たちの昼休みの様子にも興味がある。(植田委員)
→日程が早めに決まるものもあるので、都度お知らせしていく。(教頭)
- 校外学習等で、生徒たちが地域の力を体験できるイベントがあればと思う。(坂井委員)
→2 年生では職場体験等を行っている。竜川太鼓も引き続き活動していく。(校長)
- 下校時に散歩していると、生徒に会うことがある。こちらから声をかけても、挨拶を返してくれる生徒が増えていて好ましく思う。
授業参観で、空いている席を見かけたが、発達級の生徒の席だとわかった。普通級との交流があり居場所が確保されていると感じた。

先日小学校の授業を見学した。子どもたちが主体的に学ぶ授業も大事だが、基礎基本の徹底が不十分ではないかと感じた。学力の担保はどうなっているか。(正久委員)

→ 個人によってさまざまだが、一日中学校にいない生徒は減ってきている。

医療との連携がうまく進んでいるので、本人・保護者が納得した形がとれているのがいい方向に向かっているのではないか。

学力の担保に関しては、小学校から、基本の徹底と自主性とのバランスをとりながら段階的に進めていくのがよいと思う。デジタル教育を推進する方向だが、基礎や対人の経験がなければそれらを活用できない。うまくバランスをとっていくのが大事だと思う。最終的に授業を行うのは先生たちであるから、生徒にとって、ベストな教材を使ってほしい。(校長)

● 幼稚園との連携はどうなっているのか。(植田委員)

→ 「小1 プロブレム」等で、小学校低学年から不登校になってしまう問題がある。

小中一貫研では、昨年から幼・小・中でお互いの学校の見学会を始めている。

先生同士が顔を合わせるの大事だと思う。(校長)

● 幼・小・中の先生方と民生委員との話し合いの場を設けている。各学校が地理的に近いという利点を活かして、教育資源を活用していきたい。(坂井委員)

【その他報告事項等】

● 司会の教頭から、今後の学校運営協議会開催予定日について、以下の説明があった。

第2回 9月11日(金)

第3回 12月 8日(火)

第4回 2月 1日(月) 各日程とも午後1時30分から会議室にて